

令和元年度 事業実施報告書

講座の名称	デートDV防止セミナー		
講座の目的	デートDVは、恋人同士での「からだ」や「こころ」に対する暴力で、人権侵害であり犯罪です。長野県男女共同参画センターは教育機関や関係団体等と連携しながら、若者のデートDVを防止するために講師派遣事業を行ないます。		
募集対象	長野県内の高校、大学等		
募集申込数	14校	実施決定校	7校
講師	竹内 未希代さん（きりりネットワーク代表） 気賀沢 葉子さん（心理カウンセラー、参画コラボ@信州 代表） 小濱 知実さん（信州豊南短期大学非常勤講師、参画コラボ@信州）		
実施日	学 校	学 年	受 講 数
令和元年5月29日	飯田女子短期大学	1～3学年	29名
令和元年6月6日	池田工業高等学校	1学年	94名
令和元年7月10日	須坂高等学校	1学年	248名
令和元年9月12日	諏訪二葉高等学校	2学年	252名
令和元年10月24日	明科高等学校	1学年	115名
令和元年11月27日	白馬高等学校	2学年	56名
令和2年1月23日	茅野高等学校	1学年	74名
参加者の声			
<ul style="list-style-type: none"> ・デートDVについては知っていたが、身体的なものから精神的なことまで幅広いと思った。精神的な暴力は特にDVの境界線が不明瞭であり、判断しづらいことが良く分かったので、友達など周囲で不安に思っている人がいたら、一緒に考えていきたいと思いました。 ・相手を思いやることも大事だが、自分にも思いやりを持つことが大事なんだと思いました。 ・デートDVは当人の間でも気づいていないことがあるという言葉が印象に残りました。それくらい普通に行われてしまうというのは気をつけなければいけないと思います。また、自分の意見は大切な人にこそしっかり伝えて理解し合うということを大切にしていきたいと思いました。 ・自分の気持ちを伝えることが大切だと分かった。嫌なことをされたとき相手を中傷するような言葉で批判するのではなく、自分が嫌な気持ちであることを伝えることが大事だと知った。 ・男女問わず互いが生きやすく、意見を出しやすい環境を作っていくことが大切だと思った。 ・DVは暴力や暴言のみだと思っていたけれど、スマホのチェックや束縛など相手を縛るものもDVに当てはまるのだと正しいことを学べて良かったです。ささいなことでもDVや相手を傷つけることになるのだと知って、自分の言動に責任を持つべきだなと改めて思いました。 ・人の心理的な問題も学べたし、自分の心と体を守れるのは自分しかいないので、いつでも自分優先で嫌とかむりとか言いたいし、逆にちゃんと好きな相手には、好きとか友だちにも家族にも恋人にも素直な気持ちを伝えられる人でいたいです。 			